

# 会 議 録

## 1 会議名

令和元年度第1回谷浜・桑取区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【報告事項】

第6次行政改革推進計画及び事務事業評価の結果について（公開）

### 【協議事項】

地域活動支援事業について（公開）

## 3 開催日時

令和元年5月16日（火）午後6時30分から午後8時00分

## 4 開催場所

上越市立谷浜・桑取地区公民館

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 高橋誠一（会長）、安達ユミ子（副会長）、小林奎一、佐藤寿美子、  
佐藤峰生、坪田 剛、荷屋和夫、樋口清和、平野宏一、山田ヒロ子、  
（欠席2名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、千田主任  
行政改革推進課：大瀧課長、佐野主任

## 8 発言の内容

### 【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【高橋会長】

- ・挨拶

- ・会議録の確認：平野委員に依頼

議題【報告事項】第6次行政改革推進計画及び事務事業評価の結果について、担当課へ説明を求める。

【行政改革推進課：大瀧課長】

- ・挨拶
- ・資料No.1「第6次上越市行政改革の概要」、  
資料No.1-2「事務事業評価の結果について」に基づき説明

【高橋会長】

- ・説明に対し質疑を求めるが意見等はなし。報告事項について終了とする  
— 行政改革推進課 退室 —  
次に【協議事項】地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【千田主任】

- ・資料No.2「令和元年度 谷浜・桑取区地域活動支援事業提案書受付一覧」  
に基づき説明

【高橋会長】

それでは提案No.1から順に各委員の意見等があれば伺いたい。  
「No.1 谷浜・桑取地区高齢者いきいき支援事業」について質疑を求める。

【小林委員】

現在、ゲートボールをやっておられる人はどれくらいいるのか。

【高橋会長】

谷浜・桑取地区が一番多いように思う。20名程はいると思う。  
次に「No.2 谷浜・桑取地区いきいきスポーツ推進事業」について質疑を求める。

【小林委員】

グラウンドゴルフに使用するクラブはどのようなものか。

【高橋会長】

木で出来ているスティック状のものである。

【山田委員】

グラウンドゴルフはどこで行うのか。

【佐藤寿美子委員】

小学校のグラウンドで行うと聞いている。

**【平野委員】**

提案団体は「桑取グランドゴルフ会」となっているが、谷浜の人も入れるのか。

**【佐藤寿美子委員】**

設立されたばかりで、昨年グラウンドゴルフの講習を受けてきており、今年から活動しようということで設立されたようである。参加はどなたでも可能だと思う。

**【安達副会長】**

備品の管理方法はどうなっているのか。

**【千田主任】**

団体へ確認し、ヒアリングの際に提案者から回答いただけるようにする。

**【高橋会長】**

では次に「No.3 川と遊ぶニジマス釣り体験事業」について質疑を求める。

**【樋口委員】**

提案書には「桑取川漁業協同組合等の協力を得て」とあるが、桑取川漁業協同組合の予算にも計上してあったような気がする。

**【高橋会長】**

桑取川漁業協同組合の予算に計上されているのは、ニジマスの購入費用ではなく、当日、補助をするための人件費なのではないか。

**【千田主任】**

提案者から聞いている話だが、当事業の提案は今年で3年目になるが、地域活動支援事業に提案される前は、桑取川漁業協同組合が魚を準備していたとのこと。だが、それが難しくなったため、3年前から地域活動支援事業を活用し購入しているのが現状である。そのため、魚については桑取川漁業協同組合からの支出はないと思っている。

**【高橋会長】**

ヒアリング当日に提案者へ確認してみても良いのかもしれない。

次に「No.4 上越市谷浜・桑取区音楽活動交流事業」について質疑を求める。

**【安達副会長】**

だんだん谷浜小学校の児童数が減ってきているが、せっかくトランペット鼓隊があるのだから地域の行事に出て演奏したいという子ども達もいる。だがネックになっているのは送迎である。そこを補助していただければ子ども達が練習している成果も披露できるし、地域の人たちからも喜んでもらえるのではないか。トランペットを使って学校内

で演奏することは学校の行事になるだろうが、地域に出て演奏するというのは地域との交流ということで教育委員会からはお金が出ないということが現状だと提案団体から聞いている。

**【小林委員】**

くわどり収穫祭で演奏することになっているが、会場となるくわどり湯ったり村のバスは使えないのか。

**【安達副会長】**

くわどり収穫祭は湯ったり村の主催ではなく、ただ会場として使わせてもらっているだけである。だが、湯ったり村から協力してもらうことは可能なのかという意見が出ているので、そういう交渉があったかということを経理局から提案者へ聞いていただきたい。

**【高橋会長】**

くわどり収穫祭実行委員会は資金繰りが難しいと思うが、くわどり湯ったり村は実行委員会の協力団体だと思うので、協力関係の元、送迎ができないのかということを確認していただきたい。

**【佐藤寿美子委員】**

では、くわどり収穫祭実行委員会の方々がバスの送迎について提案すれば良いということか。

**【高橋会長】**

実行委員会があるのであればそちらで提案するほうが良いのかもしれない。

**【佐藤寿美子委員】**

昔はくわどり収穫祭実行委員会で支出していたが資金的に厳しくなってきました。

**【高橋会長】**

くわどり収穫祭実行委員会は何年か地域活動支援事業に提案していただいていたが、自立してほしいということを伝えてもらい、提案はなくなった。

**【小林委員】**

地域活動支援事業の補助金がいつまで続くか分からないので、協力してくれるところは探しておいたほうが良いと思っている。

**【高橋会長】**

では、次に「No.5 上越市谷浜・桑取区児童と地域との交流活動促進事業」について

だが、テントについては中学校で買ったテントもあるので、それを使えないのかという議論もあるかと思う。

**【安達副会長】**

提案したテントについては、子ども達の力でも簡単に組み立てられ、収納も簡単である。中学校でも同じテントを使っていて扱い慣れているため、今回、購入したいという話を提案団体から聞いた。

**【小林委員】**

突風が来ても大丈夫なのか。

**【安達副会長】**

風が吹き抜けるようになっているとのこと。だが、安全対策はどのようになっているのかを確認したほうが良いのかもしれない。

**【坪田委員】**

私は谷浜観光協会で行くつかワンタッチ式のテントを購入しているが、ホームセンターへ行けば同様のものが安価で売られている。今後もテントを購入されるのであれば、もう少し安価なものを買って数を増やし応用できるようにしておいたほうが良いのではないか。

今回は2張購入することになっているが、それで足りるのか。

**【高橋会長】**

中学校にも同じテントがあるが、毎年借りてきているようなので、それを前提にして、2張なのではないか。

**【滝澤センター長】**

事務局で確認していることは、例年、中学校から借りてきているのだが、それでは足りないということで提案された。

**【樋口委員】**

提案書の直近の収支を見ると収支の差額が残っている。その残額で購入することはできないのか。

**【滝澤センター長】**

提案団体である谷浜小学校PTAの予算については、子どもの数が減ってきており非常に厳しい中で子ども達に掛ける予算を削ってきている部分もあるとお聞きしている。提案の内容は地域全体の活性化を図るという目的であることから、今回提案されたもの

である。

**【高橋会長】**

では、提案団体の収支についてはヒアリングの際に確認していきたいと思う。

次に「No.6 城ヶ峰砦・長浜砦の景観保全事業」について質疑を求める。

**【坪田委員】**

これまで、城ヶ峰砦まで普通車で上れるくらい整備していただいた。先日、見頃となったカタクリの花を見てきた人の話だと、とても素晴らしかったとのこと。

**【安達副会長】**

以前、城ヶ峰砦まで地域で遠足をしていたが最近はしていない。また遠足をしたいという意見も出ているが、滑って怪我等をしたら保険に入っていないと対応ができない等の意見も出ている。せっかく整備していただいているので、この機会に地元の方々と登ってみたいという話を周囲でしている。

**【坪田委員】**

城ヶ峰砦は登れば、その良さが分かる。

**【山田委員】**

たにはま公園に下りてくる道は良くなったのか。

**【安達副会長】**

良い道になっている。

城ヶ峰砦からたにはま公園に下りてくる途中、能登半島が見えると地元住民ではない人が言っていた。看板を整備してくれているからほかの地域の人が登ってくれているのだと思う。

**【高橋会長】**

くわどり湯ったり村に来たお客さんをバスで送迎してもらったこともあるが、最近ではしなくなってしまった。

城ヶ峰砦については、地域の良さを広める材料がたくさんあるので、その一環として看板を整備したいということである。眺望を良くするために木を伐採したが、それもボランティアでやっていただいている。

**【坪田委員】**

看板だけではなく、歴史的なものも整備していただければ城ヶ峰砦の歴史が分かって、より身近になるのではないか。

**【安達副会長】**

提案団体で城ヶ峰砦に行くというイベントを企画してもらおうというのも良いかもしれない。

**【荷屋委員】**

イベント等については関係団体と進めている話もあるので、徐々に詰めていきたいと思っている。

**【高橋会長】**

次に「No.7 谷浜・桑取区のガイドマップ作成事業」について質疑を求める。

**【小林委員】**

提案書に全戸配布すると記載されているが、全戸配布よりは回覧等で欲しい人たちを確認して希望者へ配るということにしたほうが良いのではないかと。

**【荷屋委員】**

各戸以外にも公共施設等へ設置したいという話はしている。

**【滝澤センター長】**

先ほど城ヶ峰砦に関するイベント等の話が出ていたが、谷浜・桑取区には持ち歩けるパンフレットがない。イベントを行うための前段として全戸配布をし、関係部署へも配付したいということだった。

確かに興味のない人にとっては無駄なものになるかもしれないが、地域の方々へも知っていただくことが大事だということで全戸配布されるものである。

**【小林委員】**

公共施設に設置してもらえば興味のある人は手に取ってくれると思う。

**【高橋会長】**

各町内に回覧板があるから欲しい人を確認して差し上げるという配り方でも良いのかもしれない。

**【安達副会長】**

提案団体としてはPRしたいという気持ちが大いなのではないかと。

町内会長へ全戸配布してもらえるようお願いへ行く際、皆さんから見ていただけるように声掛けをしてもらおうとか、提案団体からもマップを見ていただけるような呼び掛けをすれば大勢の人から見てもらえるかもしれない。

**【高橋会長】**

では次に「No.8 『くわどり謙信公トレイル大会』を通じた地域活性化事業」についてだが、今回は新たに駐車場を整備したいということだが、地権者とは話し合いをしているのか。

**【千田主任】**

該当地は市有地のため、市と協議はしているとのこと。

**【樋口委員】**

どうしても気になるのが「ふるまい材料費」である。補助金を使ってそこまでする必要があるのか。

**【安達副会長】**

各地でいろいろなイベントが行われており「おもてなし」が風潮となっていると思う。だが、「おもてなし」だと誠心誠意振る舞う、という感じだが、毎回同じような振る舞いをしようとしても長続きしないように思う。

**【佐藤寿美子委員】**

参加したランナーに地元のお米を食べてもらうために行っていることである。

**【平野委員】**

トレイル大会の主催者は別にいると思うが、振る舞いをして地域の方々は何をしたいのか。

**【佐藤寿美子委員】**

トレイル大会をきっかけとし、桑取地域をアピールしたいという考えである。

振る舞いの材料であるお米も100kg近く使用するが、去年は地域の皆さんから寄付していただいた。相当な負担だったため、今年もお願いするわけにはいかず、提案されたとのことである。

**【樋口委員】**

地域活動支援事業の補助金があるから行っていることであって、なくなったらどうするのか。

**【佐藤寿美子委員】**

何とかしてやるのではないか。

**【高橋会長】**

当提案については、何年か補助していき、定着してきたら自主的に活動していただければと思っている。地元の方々の負担にならない範囲で事業が実施していき、長続きし



てもらおうことが一番良いと思っている。

**【坪田委員】**

かなり努力されていると思う。収入を得て賄いが出来ればと思うが、参加者はトレイル大会の主催者に参加費を払っていて、それ以外に地域にお金を落としていただけないということがあり、桑取地域の方々が苦勞している部分もあると思う。なので、地域活動支援事業の補助金に頼らざるを得ないということもある。

**【樋口委員】**

参加者の中で大会前後にくわどり湯ったり村に宿泊している人は、どれくらいいるのか。

**【佐藤寿美子委員】**

何人かは泊まっていたいている。

**【坪田委員】**

宿泊先については、谷浜地域にも旅館はあり、上越市内の宿泊施設を含めて宿泊できる場所を増やしていき、活性化していければ良いという話をしている。

**【山田委員】**

参加人数はどれくらいなのか。

**【佐藤寿美子委員】**

100名以上いると思う。ただ地元の参加者は少ない。

**【高橋会長】**

いろいろな疑問が出ては来るが、谷浜・桑取区を売り込むための一つの手段として行っているものに対しては、できるだけ自主運営で行えるような展望を考えながら進めていただければと思う。

**【小林委員】**

誘導員は主催者側が経費を持つべきだと思うが、そこまで当提案の支出となっている。少しおかしいのではないか。

**【高橋会長】**

トレイル大会の主催者側が必要経費をどこまで見ているのかを確認したほうが良いのかもしれない。

**【安達副会長】**

主催者側から経費等の話については、一切ないと聞いている。

**【高橋会長】**

今後、主催者側との話し合いの場を持てるなら設け、協議できればと思う。

本日出た意見を含め、次回のヒアリングで提案者へ確認できればと思う。

**【佐藤峰生委員】**

「No.7 谷浜・桑取区のガイドマップ作成事業」の協議の際、マップの配布について意見が出ていたが、トレイル大会の参加者へ作成したマップを配るということを折り込んだら効果的なのではないか。

**【高橋会長】**

トレイル大会は秋に開催される予定なので間に合えば対応していただきたい。

以上で協議事項について終了とする。

次に「その他」について事務局へ説明を求める。

**【千田主任】**

- ・次回協議会：5月23日（木）午後6時30分から

**【高橋会長】**

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。